

令和6年度 親育ち支援 年間計画書

施設名 ()

親育ち支援担当者 ()

年間目標	<p>目指す保護者の姿 子どもの成長を感じ取ることで子育ての喜びを味わい、さらなる子どもの育ちを意識した関わりをもつことができる。</p> <p>目指す保育者の姿 保護者と信頼関係を築き、子どもの成長を共に喜び合える仲間となるとともに、子どもの育ちにつながる関わり方を示すことができる。</p>				
月	取組	対象	ねらい(目指す姿)	内容	ふりかえり
4	今年度の取組についての協議	保育者	保育者：気になる子どもや保護者についての実態を把握し、共通理解を図るとともに、その実態から支援方法や取組を探る	<ul style="list-style-type: none"> 年間研修計画の見直し 支援リストの確認 家庭支援の計画と記録の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、目指す保護者や保育者の姿につながる取組を計画することができた 取組実施後には、全職員でふりかえりをしていきたい
5	クラス懇談会	全保護者	保護者：担任や保護者同士で楽しく会話をすることで、互いの顔を見えたり、気軽に話ができる関係になる 保育者：保護者同士の会話の様子を見たり、一緒に参加することで、保護者の思いや願いを知る	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレイク おしゃべり会 (子どものよさをアピールしよう!) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にとって、おしゃべりのテーマが話しやすかったようで、たくさんのグループから笑い声が生まれていた 保護者から、子育てについての質問や不安がでてきたため、子どもの発達について知る取組をいれていきたい
6	3歳児 半日保育者体験	3歳児 保護者	保護者：子どもへの接し方を見たり、保護者同士で話し合ったりすることで、子どもにどのように関わればいいのかを具体的に知る 保育者：年齢に応じた子どもの接し方や発達の促し方を、実際に子どもとの関わりを見せることで伝える	<ul style="list-style-type: none"> 普段の園での子ども様子や、保育者との関わりを見る 保育者と一緒に保育をする 保護者同士の体験のふりかえり(子どものかわいいところや子育ての悩み) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士が、楽しく体験する姿が見られた 保護者からは、「体験できてよかった」「またやってみよう」という声があった
7					
<p>中間検証① 取組毎に、全職員でふりかえることができていますが、ねらいとする姿が見られたかについての検証を深めることがあまりできていない。次の取組につなげるためにも、取組のねらいに戻り、そのねらいがどうだったか成果・課題を見極め、次の取組につなげていけるふりかえりをしていく。</p>					
8	保育者研修(事例研修)	保育者	保育者：気になる子どもの姿から、その子どものよさ、課題、親子の背景を探り、多面的な見方ができるようになる 親子に今後必要な支援を考え、それぞれの立場でできる支援と役割を明確にする	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者とともに育みたい資質・能力」の理解 事例研修 	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者とともに育みたい資質・能力」から発達の課題を見極め、現在必要な支援を職員全員で協議し、園全体で取り組めるよう体制を見直すことができた 子どもや保護者の様子を見ながら、今後の支援内容についても引き続き協議していく
9					
10					
11	基本的な生活習慣 取組強調月間	全保護者	保護者：望ましい生活習慣についての理解を図り、子どもとの日々の関わり方について考えるきっかけとなる	<ul style="list-style-type: none"> すくすくリズム学習会及び取組 早寝早起きワーク 	<ul style="list-style-type: none"> すくすくリズムパンフレットを活用し、親育ち支援ADの講話学習会を実施したことで、保護者の基本的な生活習慣の理解につなげることができた 保護者から「できることから取り組んでみようと思う」といった感想が多数あり、園でも支援していきたいと思う
12					
<p>中間検証② 事例研修や基本的な生活習慣についての学習会を通して、保育者の子ども理解・保護者理解が、日々の支援につながっているように感じる。全職員で取組をふりかえることで見えてきた支援を継続していく。</p>					
1	5歳児 保護者 おしゃべり会	5歳児 保護者	保護者：小学校入学までに家庭で大切にしたいことを知ることで、子どもと保護者が安心して入学を向かえることができるようになることと、保護者同士で情報を出し合い、小学校への思いや願いを共有することができる	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けた講話(親育ち支援AD・小学校教員) 小学校入学に向けて、知りたいことや不安なことなどを話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から小学校入学に向けて不安があるという声をよく耳にしたため、小学校教員を講師に迎え、話を聞く場を設定した 5歳児リーフレットの活用だけでなく、ADや小学校教員から具体的な話を聞くことができ、保護者からも「子どもと一緒に入学が楽しみになった」という声があった
2					
3	来年度の取組についての協議	保育者	保育者：気になる子どもや保護者について全教職員で今年度の支援内容や経過を共有し、次年度に向けた支援を協議することで、よりよい支援を継続できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> 家庭支援の計画と記録の確認 実践シートの確認 支援内容及び引き継ぎ事項の協議 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者の様子から、継続してきた支援内容が効果的であったことが共有できた さらなる支援内容を園全体で協議することができたため、次年度へと確実に引き継いでいく
<p>一年間をふりかえって 園行事や登降園時等で保護者と話す機会をもち、園での子どもの様子を保護者に伝えることで、子どもの成長を喜び合える関係づくりができています。また保護者から、「園の先生や他の保護者につながることで、以前より子どもとの関わり方に自信がもてるようになった」という声があり、園全体で支援内容を共有することや取組のふりかえりを行うことで、よりよい親育ち支援につなげることができていると思う。子どもの育ちにつながる関わり方を保護者に示すには、保育者の子どもの発達の理解が必要であり、日々の保育を通した子ども理解をさらに深めていきたい。</p>					